

いしかわ型復興住宅 単身・夫婦向けプラン (ひまわりほーむHH)

防災・高基礎平屋18坪

～モデルプランの特徴とメッセージ～

夫婦(単身)世帯:夫婦2人がこれまでの我が家と同じような生活を送って欲しいという願いを込めてプランを作成。平屋は階段がなく移動もスムーズなため足腰の負担も少ないため、安心して過ごせます。またLDKと3枚引込の建具で仕切られた和室を合わせると約20帖という大空間になるため、狭苦しいというストレスはありません。息子や娘が帰省した際には和室を客間としても使用できます。リビングと和室からは自然光を十分に取り入れ、近所の方々と田畑などについて話し合う縁側も設けています。耐震等級3、断熱等級6以上で震度7にも耐え、光熱費もお得な建物でこれからも、ふるさとの『能登』で元気に過ごしてください。

提案プランの概要

構造・工法 木造軸組工法
 延床面積・階数 平屋建・59.61㎡
 標準工期 4か月～5か月
 概算工事費 1771万円(税込)

概算工事費に含まれない費用

外構工事、地盤調査、地盤改良、電気引込ポール、家具工事、屋外給排水工事、カーテン工事、エアコン工事、申請費用、登記費用、諸手続き費用

平面図



内観パース



【いしかわ型復興住宅 5つ要件】提案内容

外観パース



①コミュニティ

生まれ育った地はどんなに不便でも離れることはできません。特に『能登』は人と人とのつながりを大切に生きています。助け合い、励まし合うコミュニティを第1に考えた平屋計画は縁側を設け近所の方々とのお話を愉しむ時間を作っています。この近所とのコミュニティこそが能登の田畑を復活させ、人を元気にさせ、能登の復興につながります。

②景観 (まちなみ)

平屋のまちなみは、低層であることから近隣の住民同士が顔を合わせやすく、自然と交流が生まれやすい環境です。窓や庭からお互いの気配が感じられ、挨拶や会話が自然に生まれることで、強いコミュニティの形成を促します。特に高齢者や小さな子供がいる家庭にとっては、安心して暮らせる温かみのあるまちづくりに貢献します。

③地域特性

北陸は雨や雪が多く湿度が高い地域です。そのため、洗濯物が干せるスペースを兼ねた脱衣室になっています。また、当社は全棟無垢材、国産ひのき無垢4寸角を使用しています。サッシはトリプルガラスで断熱性も高いため、寒い冬場も家じゅうあたたかな空間となります。

④住宅の 基本性能

住宅性能表示 構造等級3/3・劣化等級3/3・維持管理等級3/3・省エネルギー断熱等級6/7一次エネルギー等級7/7・高基礎仕様。

⑤コスト (費用)

シンプルな形にすることで建物全体の構造費用が抑えることができます。また、工期短縮を目指すためにメーカーと交渉し能登復興プラン仕様を作成。ただし、耐震等級3と断熱等級6以上は必須とした建物となっています。

○ 施工者本情報 (連絡窓口)

代表者所在地 石川県金沢市新保本4丁目66-6

代表者 加葉田 和夫 担当者 池腰 正隆

電話番号 076-269-8100 E-mail: contact@e-himawari.co.jp

主な外部仕上げ

屋根 瓦(板金)
 外壁 窯業系サイディング
 建具 外部:樹脂サッシトリプルガラス 内部:既製品建具

主な内部仕上げ

床 建材フロア
 壁 クロス仕上げ
 天井 クロス仕上げ